

「ヘルス・データ活用による健康増進に係る取組についての評価基準」取組事例について

◆歩数管理アプリ等の登録者数増加やアプリ参加者の平均歩数増加のために実施した取組

【取組①】 ALKOOマイレージ坂戸市民限定大抽選会

- ・実施時期：令和7年10月1日～10月31日
- ・対象者：「コバトンALKOOマイレージ」に参加している坂戸市民
- ・取組内容：各賞の条件を満たした参加者の中から抽選で、賞品が当選する。
 - 賞：(1) めざせ8,000歩賞 150名
条件：令和7年10月の1か月間の1日平均歩数が8,000歩に達した方
賞品：坂戸街おこし応援券
 - (2) Let's5,000歩賞 50名
条件：令和7年10月の1か月間の1日平均歩数が5,000歩に達した方
※10月の1か月の1日平均歩数が8,000歩未満の方が対象
賞品：企業からの協賛品
- ・結果/効果：当選者 200名
 - 事業参加者 1,778名（令和7年10月31日時点）
 - 抽選対象者（抽選条件を満たした方）(1) めざせ8,000歩賞 392名
(2) Let's5,000歩賞 245名
- ・平均歩数については、抽選会を開催することで歩く頻度が「増えた」と「少し増えた」と回答した方が全体の70%となり、歩く意識が向上したことが見られる。また、月別の平均歩数については、4月～9月の6か月間の平均歩数と比較すると、10月の平均歩数は756歩増加した。
- ・新規参加者数については、4月～6月の6か月間の平均値に対して、広報やSNS等で周知を開始した9月から参加者数の増加が見られた。

【取組②】 コバトンALKOOマイレージ参加者限定 楽しく健康チャレンジ講座

- ・実施時期：令和7年10月9日、10月16日
- ・対象者：「コバトンALKOOマイレージ」に参加している坂戸市民
- ・取組内容：第1部 おいしくかしこく、食から始める健康習慣
講師：一般財団法人 明治安田健康開発財団 健康増進支援センター
専門スタッフ 鈴木詩乃氏
第2部 ラジオ体操で健康づくり！
講師：日本栄養大学（旧女子栄養大学）実践運動方法学研究室講師
鈴木大輔氏
- ・結果/効果：新規参加者数については、4月～6月の6か月間の平均値に対して、SNSやチラシ等で周知を開始した9月から参加者数の増加が見られた。

◆歩数管理アプリ等に関連した健康増進事業の中で感じた課題等

- ・20代、30代のアプリ登録者数が少ないため、若い世代の参加者を増やすことが課題にあがっている。